

子どものやる気についてお話します。

●はじめに

子どもが落ち込んでいる時、前へ進む意欲がわかない時、親はどうしたらよいでしょうか。子どものやる気について、考えてみましょう。

●スモールステップで

やる気を起こすためには、好きにやることに出来るきっかけづくりが大切です。子どもの好きなことを体験させながら、「知りたい」という気持ちに刺激します。「やればできる」という自信が、やる気につながります。頑張れば達成できるような目標を設定し、達成すれば「よく頑張った」と一緒に喜びます。スモールステップで、できること、小さなことから、実行していきます。人の役に立つ喜び、人の幸せに貢献できる満足感があると、やる気が倍増しますね。

●子どもをほめるには

ほめ方として、「①「すごい」「さすが」とほめる ②ありがとっ、うれしいと感謝の気持ちを伝える ③何がよかったか具体的にほめる、の三つがあげられ

●勇気づけること

「はめる」場合、親が子どもの上に立つ縦の関係で、達成した結果を評価する言葉になります。「勇気づけ」では、尊敬信頼の気持ちで関わる横の関係で、自信とやる気を引き出す効果があります。勇気づけのためには、できていることに目を向け、結果ではなく挑戦した姿勢や過程に注目します。うれしい、助かる、ありがとっ、応援しているよ、という気持ちを「私メッセージ」で伝えるようにします。

●ネガティブ感情を手放す

ネガティブな感情から抜け出すには、物事のとらえ方を外に取り出し、客観的に見つめるようにしてみます。「子どもの心を強くする すごい声かけ」の著者足立啓美さんは、ネガティ

●おわりに

「はめる」場合、親が子どもの上に立つ縦の関係で、達成した結果を評価する言葉になります。「勇気づけ」では、尊敬信頼の気持ちで関わる横の関係で、自信とやる気を引き出す効果があります。勇気づけのためには、できていることに目を向け、結果ではなく挑戦した姿勢や過程に注目します。うれしい、助かる、ありがとっ、応援しているよ、という気持ちを「私メッセージ」で伝えるようにします。

よいところも悪いところも、あるがままの自分を好きになれるように、親が子どものすべてを愛するとき、子どもの自己肯定感が育ち、自信とやる気も出てきます。幼少時期には、肉体的、精神的不快を快に変えるヘルプを充分に与えます。子どもの成長とともに、子どもの力を信じて見守り、自立のためのサポートをしていきましょう。



野村 真二院長

平成22年9月に小児科開業、平成23年4月に病児保育室を開設。未熟児新生児医療の経験を生かして、心をこめて診療、子育て支援を行っています。



こころ・チャイルド・クリニック
Cocoro child clinic

4階の病児保育室ちゅんちゅんもご利用下さい

お問い合わせはtel.082-848-6619まで

●診療日・時間

	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
14:00~18:00	○	○	○	○	○	△

14:00~15:00に乳児健診、予防接種を行っています
△17:00まで 【休診日】日曜・祝日



DATA
広島市安佐南区伴南
1丁目5-18-8-301
西風新都ゆめビル
tel.082-849-5519

ACCESS
広電バス「こころ産業団地」
「こころ西公園」行き
「こころ入り口」下車

